まえてつ通信 2nd　NO. 044　2017.3.22

◎「数字のいいとこどり」は県政浮揚の障害に

県議会を振り返って

数字に真摯であって

中村法道知事の2期目最終年度に向けた当初予算案を議論した今定例県議会。中村県政のこれまでの成果を検証しようとする議員の姿勢が際立った。

中村知事就任当初に約145万人だった県人口は、約139万人（昨年1月現在）となった。人口流出が著しい壱岐市区選出の山本啓介議員（自民）は一般質問でこうした数字を挙げ、「中村県政の打ち込んだ施策がどう響いたのか。しっかり検証する必要がある」と提起した。

県が力を注ぐ「県民所得向上対策の成果も俎上に。予算決算委員会で前田哲也議員（自民）は、1人当たり県民所得が2009年度に全都道府県中44位、13年度に同43位で「上がっていない」と指摘。ボーナスを含む県民の「月間現金給与総額」は10年の約31万円（同32位）から、14年の約28万6千円（同43位）へ後退した点も問題視した。

企業誘致は10年度から16年度までに42社に上り、「県民に安定した雇用の場を提供している」と県側も胸を張った。ただ、誘致したオフィス系19社のうち、保険会社を除いた11社は非正規雇用率が高い、と議員から突っ込まれた。その割合は80%超に上るという。

県の自己評価のあり方にも疑問が差し挟まれた。ビューで2期目3年間を「55点」と辛めの自己採点だった。減点理由に、14年の水産加工品出荷額は501億円で、県総合計画に掲げた基準の08年より51億円下がったにもかかわらず、達成率は「77%」。これに渡辺敏勝議員（改革21）が一般質問で「数字のマジックじゃないか」とかみつき、現実を直視した評価を求めた。知事も「県民の評価と合わない代表例だろう。実態を分かりやすく表現するよう工夫したい」と認めるほかなかった。

諫早湾干拓事業の開門調査問題や、九州新幹線長崎ルートに導入予定のフリーゲージトレイン（軌間可変電車）開発遅れなどを挙げた。

ただ、こうした成果が目に見えやすい大型事業だけでなく、所得や雇用など県民の暮らしに身近な指標がどう推移してきたかにもこだわりたい。県は「都合の良い数字だけを並べず、真摯に受け止めるべきだろう。（久保景吾）

H29.3.17　長崎新聞より

今月 16 日に県議会が閉会しました。長崎新聞は毎回閉会の翌日に「県議会を振り返って」という記事を掲載しますが、今般の記事で私が以前より意見している「県は自分たちにとって都合のいい数字で成果がでていると判断するのではなく、**客観的なあらゆる数字を参考に**県政の検証を行い、成果の可否について判断すべき」という内容で記者も同じような指摘をしています。

一例を挙げると「県民所得向上」が 24～27 年度の 3 ヵ年で県は「目標を達成できた」「成果がでている」と判断していますが、県が参考にしていない各種統計値（もちろん数字だけでなく内容の精査も）で検証した時に「目標を達成できていない」という立ち位置に立てば、これからの取り組みは施策の作りこみ、予算のつけ方を含め全く違ったものになってきます。ですから**「都合のいい数字ばかり拾うな」**なのです。

似たようなことでは 1 年半ほど前の H27. 2. 22 に県が公表した「長崎県の暮らしやすさ指標」について、公表されている統計データなどを用いて全国と比較すると本県は「総合 1 位」だそうです。

然るに「幸福度」第一人者の著書によると 16 年度の本県の幸福度ランキングは全国 43 位。田舎暮らしを勧める雑誌の「住みたい田舎ベスト 50」では 50 都市に本県の市町はひとつもランクインできていません。

暮らしやすさ 1 位なのに幸福度も低く、住みたい田舎でもない…ということはやはり「都合のいいととられかねない比較項目の設定」や「本県独自の順位付け」となっているのではないでしょうか？各種統計数値に対して**「真摯に、謙虚たれ」**で客観的、多角的な検証が求められます。

65指標 総合ランキング

1	福井県	25	大分県
2	東京都	26	茨城県
3	富山県	27	新潟県
4	長野県	28	秋田県
5	石川県	29	広島県
6	島根県	30	福岡県
7	滋賀県	31	兵庫県
8	鳥取県	32	岡山県
9	愛知県	33	岩手県
10	静岡県	34	宮崎県
11	神奈川県	35	奈良県
12	京都府	36	鹿児島県
13	岐阜県	37	徳島県
14	山梨県	38	和歌山県
15	群馬県	39	福島県
16	千葉県	40	北海道
17	埼玉県	41	愛媛県
18	山口県	42	宮城県
19	熊本県	43	長崎県
20	香川県	44	大阪府
21	栃木県	45	青森県
22	山形県	46	沖縄県
23	三重県	47	高知県
24	佐賀県		

H28.9.26 東洋経済オンラインより

発行：前田哲也 〒852-8023 長崎市若草町 14-11　http://maetetsu.jp/　TEL095-840-9020 FAX840-9027

※まえてつ通信はご希望の方、ご支援頂いている方にお送りしています。メール配信（カラーPDF）へ変更ご希望の方はご連絡ください。